

## 日本エム・イー学会平成16年度第1回理事会議事録

日時：平成16年5月19日(月) 16:30～17:30

会場：金沢 金城楼

### <出席者>

会長：上野照剛

副会長：赤澤堅造、安藤譲二

理事：石原 謙、岡田正彦、梶谷文彦、神谷瞭、菊地眞、北畠 顕、佐藤俊輔、辻岡克彦、林紘三郎、  
福井康裕、堀正二、山越憲一、山本克之、鎗田勝

理事・監事候補者：稲田 紘、土肥健純、仁田新一

顧問：阿久津哲造

特別委員長：小野哲章

支部長：栗城真也(北海道)、佐々木和男(北陸)、山内一信(東海)、  
杉山肇(甲信越 浜田代理)

幹事：伊良皆啓治、岩坂正和、近藤寛也、守本祐司

事務局：高柳 建、佐山岳史

### <欠席者>

理事：砂川賢二、佐久間一郎、佐藤正明、

監事：千田彰一、星宮望

特別委員長：楠岡英雄(BME)

支部長：寺本滋(中国・四国)、村上輝夫(九州)

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成15年度第5回理事会議事録(16-1-2)が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧された。この結果、正会員9名減で2,692名、正会員海外1名増の41名、準会員(国内)12名減で376名、準会員(海外)1名となった。維持会員の数は1社1口減で、28社42口である。顧問19名、名誉会員7名増の41名である。(16-1-3)。
4. 審議事項に先立ち、第43回大会山越大会長より、第43回大会の開催状況の報告がなされた。今回の大会では、エム・イー学会大会としては初めて国際学会と形態をとり、欧米、Asiaからの多くの参加者を得て、企画プログラムと一般演題をあわせて656演題が集まった。参加者は19日午後5時30分現在、760名うち海外から32名の参加登録があったことが報告された。
5. 山越理事より、学会名称変更に関して、平成15年度秋季大会の際に行われた臨時総会において議決された「日本生体医工学会」への名称変更が文部科学省より5月17日に内諾を得たことが報告された。今後、総会で議決を得た後、文部科学省に正式に申請し、登記を行なうことで、「日本

生体医工学会」と名称変更が行われることが報告された。学会名変更に伴い定款変更を行う必要があり、変更事項が資料16-1-12に基づき説明された。特に、理事の数を現在の定款にある18名以上21名以内を、17名以上20名に変更、20条の理事解任規定の明文化、23条の理事・監事と代議員は兼職をすることはできなくなったこと等が報告され出席理事全員の賛同を得、この定款変更が議決された。これに関連して、日本エム・イー学会理事・監事および評議員選挙規程の変更が提案され(16-1-13)承認された。

6. 辻岡総務理事より提案されたME教科書シリーズ「バイオマテリアル」を韓国で翻訳出版する件に関して、印税の取り扱いに関して審議した結果、印税は、通常のME教科書シリーズと同じ割合で学会と執筆者に配分することが承認された。(16-1-4)
7. 辻岡総務理事より、第2回生活支援工学系学会連合大会への協賛依頼が(16-1-5)きていることが述べられ、審議の結果、協賛が承認された。
8. 辻岡総務理事より、代議員、評議員会・総会の英文表記に関して、代議委員会を representative、評議員会、総会を General Assembly することが提案され承認された。また、選奨各賞等英文表記が資料16-1-6の通りとなることが報告された。
9. 佐藤俊輔理事より、現在、エム・イー学会が各種団体に協賛金を支払って参加している団体のうち、機械振興協会、日本工学会、日本臨床検査標準協議会正会員の脱退が提案され、審議の結果、これら3団体からの脱退が承認された。なお、横断型基幹科学技術研究団体連合加入に関しては、継続審議となった。
10. 名誉委員推薦(資料16-1-8- )に関し、仁村泰治先生の名誉委員が承諾された。
11. 選奨委員長安藤理事より、選奨各賞受賞者が選奨委員会で決定されたことが報告され、報告に基づく各賞受賞者が承認された。(16-1-9)
12. 堀次期会長より、理事の平成16年度会務分担が提案され(16-1-10)承認された。
13. 日本医学会より、次期の評議員、連絡委員、用語委員およびその代委員の推薦依頼があり、評議員には堀次期会長、連絡委員には菊地次期副会長、用語委員に辻岡次期副会長、用語代委員には佐久間理事を推薦することが決まった(16-1-11)。
14. 辻岡総務理事より、専門別研究会規程に関して、研究会を3年間を限度とする短期集中型の研究会Aと、長期持続型Bの2種類に分類することが提案され、審議の結果承認された。なお、研究会の活動報告はホームページ等できちんとして行うことが確認された。(16-1-14)
15. 鎗田理事より、平成15年度収支決算及び監査報告並びに平成16年度予算案が提案され、承認された(16-1-15)。種々の削減効果と、試験関係費の収入増加により平成15年度収支差額は3,622,859の黒字となった。収入増加に関して教育委員会の試験関係費の収入増が寄与しているが、これに対する教育委員会への報告を現会長、次期会長から行うことが確認された。平成16年度予算案に関して、IFMBEの会費が49万円なのに40万円と計上されているとの指摘があっ

たが、IFMBE の会費も会員数の減少によりよっての変動を見込んでのことでありこのままでも問題がないことが確認された。また、資料における機関誌出版費に関する備考欄に間違いがあり、BME 年 6 回が 4 回、年 10 冊が 8 冊に訂正された。なお、MBE サマースクールの 30 万円の内訳は、例年額に加えて教育委員会分活動費 10 万円であることが確認された。

- 16 . 第 18 回秋季大会石原大会長より、大会準備状況が報告された。テーマ「持続可能なビジネスとしての ME 戦略」として、病院見学、特許相談等が企画されていることが述べられた。(16 - 1 - 17)
- 17 . 第 44 回大会上野大会長より、第 44 回大会が平成 17 年 4 月 25 日-27 日つくば国際会議場で開催することが報告された。(16 - 1 - 18)
- 18 . 6<sup>th</sup> Asian-Pacific Conference on Medical and Biological Engineering (APCMBE2005)が平成 17 年 4 月 24 日-27 日つくば国際会議場で開催することが報告された。(16 - 1 - 19)
- 19 . その他として、稲田理事より、2005 年以降の日韓シンポジウムに関して、企画中であることが報告された。また、稲田理事より、ME 技術実力検定試験に関して報告がなされた(16 - 1 - 17)。  
最後に上野会長より学会長退任の挨拶、並びに堀次期会長より抱負が述べられた。

(配布資料)

- |              |   |
|--------------|---|
| 16 - 1 - 1   | 平成 16 年度第 1 回理事会議題  |
| 16 - 1 - 2   | 平成 16 年度第 5 回理事会議事録(案)  |
| 16 - 1 - 3   | 平成 15 年度第 5 回理事会入退会審査対象者  |
| 16 - 1 - 4   | ME 教科書シリーズ「バイオマテリアル」翻訳出版の件  |
| 16 - 1 - 5   | 第 2 回生活支援工学系学会連合大会協賛の件  |
| 16 - 1 - 6   | 日本エム・イー学会選奨各賞等英文表記(案)   |
| 16 - 1 - 7 - | 日本工学会他関係団体加入状況見直しの件   |
| 16 - 1 - 7 - | 横断型基幹科学技術研究団体連合加入   |
| 16 - 1 - 8 - | 名誉会員追加承認の件  |
| 16 - 1 - 8 - | 次期副会長並びに平成 16・17 年度監事選出報告   |
| 16 - 1 - 9   | 選奨各賞受賞者決定報告   |
| 16 - 1 - 10  | 日本エム・イー学会平成 16 年度会務分担(案)  |
| 16 - 1 - 11  | 日本医学会 / 評議員・連絡委員・用語員・用語代委員選出の件  |
| 16 - 1 - 12  | 平成 16 年度 通常総会資料(追補) 学会名称等定款変更   |
| 16 - 1 - 13  | 社団法人日本エム・イー学会 理事・監事および評議員選挙規定変更・新旧対照表   |
| 16 - 1 - 14  | 専門別研究会規程  |
| 16 - 1 - 15  | 平成 15 年度収支決算書   |
| 16 - 1 - 16  | 社団法人日本エム・イー学会 平成 16 年度 通常総会資料   |
| 16 - 1 - 17  | 第 18 回 日本エム・イー学会秋季大会のお知らせ   |
| 16 - 1 - 18  | 第 44 回 日本エム・イー学会大会準備状況  |
| 16 - 1 - 19  | 6 <sup>th</sup> Asian-Pacific Conference on Medical and Biological Engineering ポスター |
| 16 - 1 - 20  | 第 10 回「第 1 種 ME 技術実力検定試験」実施のしおり   |